

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成26年7月31日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区四条通烏丸東入	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 宝酒造株式会社 代表取締役社長 柿本 敏男

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	京都サイト他 全事業場
導入年月日	2001/1/29
認証番号	JE0077D
基本方針	事業活動全般の環境影響評価を的確に行い、技術的、経済的に可能な範囲で目的・目標を定めて実践し、また定期的に見直すことにより環境パフォーマンスの向上を図る。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	宝グループ3カ年目標（2011～2013年度） 最終年度（2013年度）目標 ・工場CO2 5.4%増加（2010年度比） ・物流CO2 4.5%増加（2010年度比） ・工場廃棄物 11.3%削減（2010年度比） ・事務所電気使用量 20.0%削減（2010年度比）
目標を達成するための取組の内容	・計画的な設備投資計画に基づき工場全体のエネルギー削減を目指す。また他の工程についても継続的な改善を実施し省エネルギーを推進する。 ・ISO14001環境マネジメントシステムに基づき、職場単位で省エネ活動を企画・実施する。
目標を達成するための取組の進捗状況	・工場CO2排出量、用水使用量、廃棄物排出量の原単位削減および事務所電気使用量削減の4項目は目標未達成であった。 ・新規設備の導入や更新を計画通り実施するなど、おおむね計画どおり進捗した。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・低アルコール製品の生産増により原単位当たりのCO2排出量、用水使用量が増加した。 ・創意・工夫提案による追加の省エネ対策を実施したが、2013年度は酷暑であったことと時間外空調の電気使用量が増加したため原単位当たりの事務所電気使用量が増加した。 ・目標未達成となったものはいずれも、目標設定時点で想定していない要因によるものであった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法的要求事項の遵守評価については、ISO14001環境マネジメントシステムに基づき、法令、条例、ガイドライン等の改正への対応と遵守状況確認を実施・確認出来ている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001環境マネジメントシステムに基づき、年1回グループの目的・目標について、評価・見直しを実施している。 今年度についても、一定の成果が見られたことから引き続きISO14001環境マネジメントシステムを運用することとした。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。